

# 住みよいたけし

2021年4月16日発行

事務所 武石地域自治センター内  
TEL:0268-85-3667  
<https://www.s-takeshi.jp>  
印刷 中澤印刷株式会社



## 武石地域総合センター

### 開所

武石地域の行政そして住民の共生・協働の核となる施設、武石地域総合センターが3月29日(月)にオープンし業務を開始しました。

午前8時から始まった開所式では、コロナ禍の折簡素化され、土屋市長のあいさつ、土屋市議会議長などの祝辞の後、市長、議長、峯村教育長、伊藤武石自治会長会長、廣川武石財産区議長によるテープカットが行われ、8時30分から自治センターや公民館としての業務が開始されました。市民生活課の窓口ではさっそく藪合の木下さんがマイナンバーカードを申請していました。

また上田市社会福祉協議会武石地区センターと武石地域包括支援センターの事務所も武石デイサービスセンターから移転しました。

旧自治センター庁舎は1961(昭和36)年に建設され60年間使用されてきました。老人センターは1972(昭和47年)、公民館は1973(昭和48)年、健康センターは1979(昭和54)年、それぞれ建設されましたが、新庁舎に役目を移しました。



### 住みよいたけしをつくる会の事務所

つくる会事務室は、これまでは自治センター2階の入りにくい場所でしたが、新事務所は総合センター玄関ホールの一隅にあります。お気軽にお立ち寄りください。

### エリアトーク放送原稿の受付

平日午前9時から正午までつくる会事務所で受け付けます。

## こ ずくっ娘味噌作り

農閑期の仕事として、冬の寒い時期に行われてきた「ずくっ娘味噌工房(代表 翠川寿美さん)」の味噌作りの仕込みが、今年は1月10日から3月10日まで行われました。

味噌工房では、武石で取れた大豆(こうじいらず・つぶほまれ)を使い、手作り味噌を生産しています。工房では、販売用3トン、受託7トン、計10トンの味噌を生産しています。受託というのは、地域の皆さんから自家製の大豆や米等を使って味噌の仕込み作業を受託するものです。

工房での味噌作りは、大豆と麴を13対15ぐらいの割合で行っています。販売は主に国分のマルシェと長和町の黒曜マルシェ、菜の花館などで行われ、そのほか武石で開催のイベント等でも豚汁の調味料などで提供されています。店頭価格は900gパックで800円～900円ほど。



工房の職員は16名、1日4名が出勤し味噌作りを行いました。ただ現在の会員は高齢化してきており人員確保がきつくなっているとのこと、新規に働いてくれる人を募集しています。農閑期に働いてみたい方、味噌作りを体験したい方はいかがでしょうか。また、大豆を煮る薪用に、不要になったハゼ足を提供していただけたらとの要望があります。

## 来年の御柱祭に向け しめ縄張りが行われます



前回の御柱 里引き

武石一番の祭り子檀嶺神社御柱祭が来年4月に開催されます。それに向け本年から準備が始まります。

4月3日(土)には、関係者により武石口信号モニュメント脇と市之瀬の武石新橋脇に御柱の日程案内の木札が設置されました。

4月25日(日)には、既に選定されている御柱にしめ縄張りが行われる予定です。御柱は、

上本入の焼山国有林の樅の木が選ばれています。

本年11月7日(日)には御柱の斧入れ式と山出しが行われ、下武石の信廣寺脇の御柱安置所まで引き出されます。御柱の里引き、建御柱が行われる御柱祭は来年4月10日(日)とされています。

## 住みよい武石をつくる会 第3期へ

3月23日、つくる会運営委員会が開催されました。つくる会の事業・会計年度は3月で終了すると同時に、第2期が満了します。4月からは、第3期の新年度が始まります。

この日は4月の総会に諮られる2020年度の事業実績報告と決算の見込み、2021年度の事業計画案と予算案の審議が行われました。

2020年度はコロナウイルスの影響で会活動が著しく制限された厳しい年となりました。新年度も見通しが立てづらい状況ですが、会の重点目標や6つの部会ごとの事業の取り組みについて協議されました。また今年は2年任期の役員改選期にも当たりますので新年度の体制づくりについても検討されました。



## 商い荷物の武石峠越え、江戸の道中奉行の裁断に

郷土史家 児玉卓文

武石峠を越えてどんな商品が運ばれていたのでしょうか。寛政5年(1793)に、松本町の問屋が松本藩役所に提出した書類には次のようにあります。

- 松本の山家郷の者が売りさばく商品…酒糟、  
油糟、豆腐殻
- 松本町人が買い集めて持ち出す商品…水油、  
綿類、太物、たばこ、かんぴよう、塩魚、干し魚、瀬戸物、酒、雑穀、米穀、野菜もの
- 帰り荷の商品…地の野菜種、串柿、野菜類、  
ほうろく、生花、藍玉、塩、上野の砥石

酒糟・油糟は肥料です。前回の長窪古町の願書には、「私共の村はまぐさの不足する場所なので、田畑の耕作に松本城下町からの油粕・酒粕を購入して地を養う」とあります。水油は主に灯火用の菜種油、太物は木綿の糸や布類、たばこは生坂村産が江戸でも有名でした。魚・干し魚は糸魚川から、瀬戸物は尾張の北東部から、庶民は木の椀を使っていましたからぜいたく品。ほうろくは素焼きの鍋、染料の藍玉は武州産(幕末のことになりますが、武州深谷の藍商人の息子渋沢栄一は、十代後半の数年間、武石村を商売で回っています)、上質の阿波産は松本側からこちらへ運ばれました。上野の砥石は佐久の田口峠を越えた南牧村の名産でした(松本の和菓子屋開運堂は江戸時代の荒物屋の跡地にあり、店の床下に発掘された砥石が展示されています)。

寛政5年以降の寛政年中(1794～1800)に山崩れがあり峠は不通になりました。が、まもなく復旧したようです。文化10年代(1813～)に、松本側で武石峠へ向かう商業荷物の差し押さえ事件が起きていますし、同13年(1816)には、長窪古町と下武石の者が、松本藩役所に商業荷物の輸送を願い出ています。

こうした中、松本藩は藩の御用荷物及び御城米を輸送するため、武石の御料林(藩直轄の林)の

中に新道を開くことを上田藩に依頼し、天保15年(1844)に新道が完成します。すると、長久保宿・芦田宿と長窪古町および松本町の商人の間で、御城米を大内道を通り直接芦田宿へ、御用荷物・商い荷物は長久保宿経由で芦田宿へ継ぎ送りする企てがなされ、中山道筋の長久保宿から小田井宿までの問屋は松本町に出向き、駄賃(輸送料)などについて取り決めを行いました。



運送や農耕の牛馬を供養する馬頭観音碑(権現神社)

商業荷物の武石峠越えは一層活発になり、本街道の宿場は困窮し、ついに弘化3年(1846)、中山道筋の追分から倉賀野(高崎市)までの9宿、北国街道筋の小諸・田中・海野・上田の4宿、松本街道の浦野宿と保福寺宿の計15宿は、武石峠越えの商業荷物の差し止めを求めて、江戸の道中奉行(交通関係の最高裁判所)に訴え出ました。

訴えられたのは、武石村と長窪古町の役人総代、中山道の長久保宿から小田井宿までの7宿、松本藩領金井村と岡田宿の役人総代です。長い訴訟が始まり、武石村庄屋の喜伝次はじめ関係者は何回も江戸に呼び出されました。

判決は、嘉永3年(1850)に「武石通りの商業荷物継ぎ送り禁止」とでました。武石峠を通過して、中山道の宿場につなぐ輸送は禁止され、違反者は罪科に処せられることとなりました。

次号に続く

武石を盛り上げる  
人々グループ紹介

# 武石の人々 団体

NPO法人  
武石子育て支援を考える会  
武石児童館・学童保育所ピーターパン  
・子育てひろば(子育て支援室)

## ふれんず武石児童館 その①

かつての(武)トマト選果場跡地に武石児童館が建てられて11年。毎日多くの子ども達の元気な声がこだましています。

今回は、この武石児童館を訪問しました。

「5番の答え分かったよ!」「ミツカンでしょ?」「違う、違う」「えー、じゃあ、ツナ缶?」「ブブー違います」

元気な子ども達と職員の方との楽しそうなやり取りの音が聞こえてきます。尋ねると、毎月行われている「ふれ太チャレンジ」というイベントとのこと。平成30年に「ふれんず武石児童館」の愛称から「ふれ太」のキャラクターを作り、それに親しみを持ってもらえるようにと、職員が週替わりで何

問かクイズを出題し、子ども達は正解すると「ふれ太スタンプ」が押され、その数によって景品がもらえるそうです。2月の景品は職員手作りの“ブンブンこま”で、子ども達は上手に楽しくこまを迴していたそうです。週明け毎に新しいクイズが出題され、子ども達は来館するなり「今週のクイズは?」「あーこれ分かる!」と大好評との事。



なかには張り出されたクイズの前で、迎えのお母さんが来るまで真剣に考えている子もいるそうです。

そんな「ふれ太チャレンジ」での子ども達との関わりや日々の遊び、何気ない会話などを通じて親しみやすい信頼関係がつけられることを職員の皆さんは大切にしているそうです。

「武石児童館」「学童保育所ピーターパン」「子育てひろば(子育て支援室)」は、平成22年(2010年)4月に未来をつくる子ども達を地域の宝として育てることを目的として設立され、子ども達の居場所を提供しながら集団生活を通じた健全な育成を目指して開館しました。基本的に0歳から18歳まで利用が可能で、現在小学生が一日約70名(土曜日の未就学児と保護者が約10名)利用しています。時節に応じた様々なイベントも多く企画され、子ども達は楽しい時間を過ごし



館長  
甲田 恵理さん



主任  
山田 実季さん

ています。

館長の甲田恵理さんは、「大勢のお子さんが利用しているので色々なことがあります『見守る』『支える』『待つ』を意識しながら子ども達と過ごしています。親しみやすく安心な居場所となるよう、元気な武石っ子からパワーをもらいながら日々頑張っています。『児童館』・『学童保育所ピーターパン』・『子育てひろば』は所属上別組織ですが同じ屋根の下、分け隔てなく接しています。ちなみに、冒頭の5番のクイズの問題は『三つの缶詰があります。中身は何でしょうか?』です。答えは……。気になる方は児童館へお越しください」とお話し下さいました。



※なお、併設の「学童保育所ピーターパン」「子育てひろば」については次回改めてご紹介します。